

今月のおすすめ図書

◆一般図書

君が夏を走らせる



瀬尾 まいこ／著 新潮社

高校中退の太田は、先輩の2歳になる娘をバイトで1か月ほど預かることに！振り回されてばかりの彼のひと夏の奮闘記は最後にきっと温かい気持ちになります。

だいじだいじどーこだ？



えんみ さきこ／さく

かわはら みずまる／え 大泉書店

幼い頃から自分の「からだ」を知ることの重要性や、一人ひとりが大切な存在であるということがしっかりと学べる1冊。初めての性教育絵本としてもおすすめ。

♥児童図書

ターちゃんと呼びこ



ドン・フリーマン／作 ほるぷ出版

ターちゃんは、新しい長靴を波にさらわれてがっかり。でも、あのペリカンが！キャンプにきた少年と、年老いたペリカンとの交流が静かに描かれます。

こころのねっこ



読売新聞生活部／監修 中央公論新社

『読売新聞』の投稿欄「こどもの詩」の55周年を記念した精選集。こどもの素直な言葉で綴られた詩は、どれも心に優しく響きわたり、温かな気持ちにさせてくれます。

ぶらりらいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎ 22-2612 FAX 22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、31日(月末資料整理)

写真と新聞で振り返る

戦後80年米子～戦争の追憶展～

米子市立図書館に残っている、当時の新聞や写真を中心に、戦争を知る・学ぶ展示を開催します。

平和学習クイズラリーもあるよ

◆会期

8月1日(金)～30日(土)

◆ところ

米子市立図書館2階
市民ギャラリー



夏休み特別企画

館長からの挑戦状「謎解きは図書館で」

図書館に眠る、15の謎を解き明かせ！

子どもを対象とした謎解きラリーを開催中！

◆会期

7月19日(土)～8月24日(日)

◆ところ

1階児童室、2階郷土資料室



今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会)

毎週木曜日 午前10時40分

▽夕方おはなし会(職員)

12日(火) 午後4時

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

30日(土) 午前10時30分

「各種講座」

▽つつじ読書会『緑の家 上』バルガス・リヨサ／作、木村 栄一／訳(岩波書店) (初めてのの方☆)

2日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めてのの方☆)

3日(日) 午後1時30分

▽火曜の会朗読コンサート「星は見ている」原爆の日(に寄せて)～

6日(水) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

19日(火) 午後3時、20日(水) 午前10時30分(1日(金) 午前9時受付開始)

※9月の予約は9月2日(火) 午前9時受付開始

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

23日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

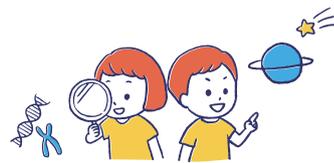
23日(土) 午後1時30分

「2階ギャラリー」

▽高校生の描いた原爆絵展

27日(水)～29日(金)

「ワンダー！」好奇心の扉を開き、探求の世界へ！
☎ 米子市児童文化センター (☎ 34-5455)



電子顕微鏡コーナーでは、誰でも自由に観察を楽しむことができます！



松浦季恒氏のアートオリンピア2024受賞作品
「Withered Plant (枯れた植物)」

児童文化センターの1階にある「ミクロの世界探検コーナー」には、昨年日本顕微鏡学会により「顕微鏡遺産」に認定された「低真空走査型電子顕微鏡S-2460N形」と共に最新式の卓上型電子顕微鏡が設置されています。実は米子市は、電子顕微鏡の世界的権威である故・田中敬一鳥取大学名誉教授と故・菅田栄治大阪大学名誉教授を輩出した町で、電子顕微鏡と深い関わりがあります。通常、電子顕微鏡は大学や研究機関などで、ほこり

電子顕微鏡で ミクロの世界を探検！

が入らないよう厳重に管理されますが、「誰でも気軽に電子顕微鏡に触れてミクロの世界を体験できるように」と1階ホワイエに設置されており、自由に自分の見たい物を数万倍まで拡大して観察できるようになっています。また、7月26日から8月10日までは、米子市美術館で松浦季恒展「Life beside you」〜終わりの中の始まり〜を開催しています。肉眼では見ることができない、電子顕微鏡写真による美しいミクロの世界をぜひご覧ください。

美術館通信

米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市埋蔵文化財センター連携事業

企画展「戦後80年 未来へ伝える昭和の戦争」

本展に出品している加納莞菴 (1904~1977) の《風陵渡高地占領》(複製画)は、日中戦争の際、従軍画家として訪れた中国・山西省で取材し、血戦の末に勝利する場面を描いた作品です。戦争の緊迫した様子を伝える臨場感あふれる大画面が目を引きまします。莞菴は終戦後、フィリピンの日本人戦犯の助命嘆願を行うなど、平和運動にも熱心に取り組みました。本展では莞菴をはじめとした戦争を経験した作家の作品や、戦跡を伝える資料などを展覧し、戦争の惨禍の記憶と平和への願いを後世へ引き継ぐことをめざします。



加納莞菴《風陵渡高地占領》(複製画) 1944年
安来市加納美術館蔵

■会 期

7月20日(日)～8月24日(日) [水曜日休館]

■観覧料

一般 500円 ※大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付き添い1人を含む)は無料

☎ 米子市美術館 (☎ 34-2424 FAX 33-0679)